



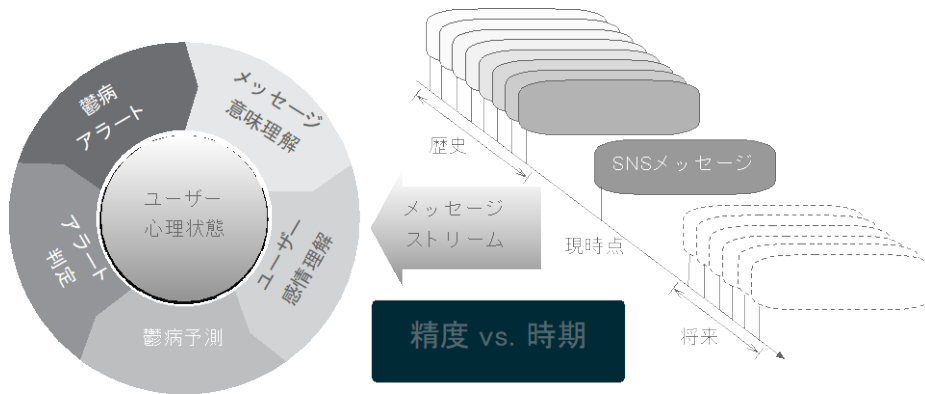
Faculty of
Science and
Technology
Tokushima University

言語意味・感情に基づく早期鬱病診断に関する研究 及び会話品質評価・目的有る会話生成に関する研究

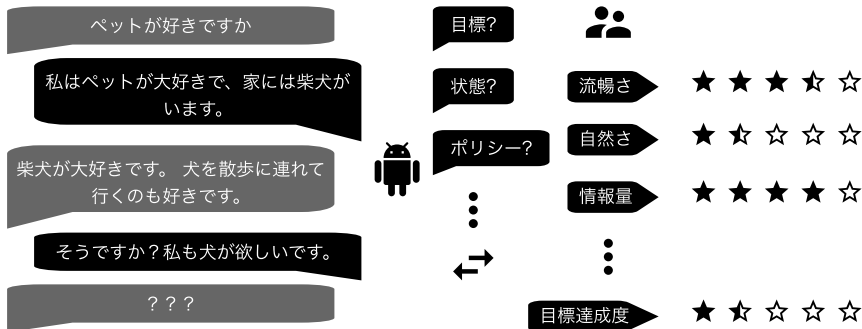
【キーワード: 自然言語処理, リスク早期発見, 会話評価, 会話生成】

助教 康 鑫

早期鬱病診断



会話品質評価・目的有る会話生成



内容:

精神疾患の早期発見は治療やリハビリテーションに対して重要な課題になっている。本研究はSNSユーザーが発信したメッセージをストリームと扱い、メッセージの意味と感情情報を抽出し、発信時間情報と一緒に纏めて確率的に鬱病の予測及び鬱病アラート判定ポリシーを学習する方法を提案する。鬱病アラートがSNSユーザーに提供出来て、医療・衛生機関に対して貴重な情報として利用できる。本研究は鬱病判定精度とアラート出す時期を同時に注目する為に、色んな機械学習手法を検討する。

SiriやAlexaなどの音声アシスタントが盛んでいる時代に、人間らしい会話を生成する研究は増やしている。しかし日常生活に色んな会話のシナリオや目的が存在し、会話の「人間らしさ」に対して学术界に統一的な定義がなさそうである。更に会話生成モデルの学習目標が不明になってしまい、一般的な会話コーパスによる学習した言語モデルを直接に利用する場合に、意味の一貫性や倫理的な問題点が避けられなくなる。本研究は雑談会話の上にサービスカウンター会話・心理カウンセリング会話を注目し、会話品質の自動評価と会話生成改善手法を提案する。会話の人間らしさと特定分野における効果と効率を注目し、色んな心理学理論・機械学習手法を検討する。

分野: 知能情報学・感性情報学

専門: 情報工学専門分野

E-mail: kang-xin@is.tokushima-u.ac.jp

Tel. 088-656-9912

Fax: 088-656-9912

HP : <https://researchmap.jp/kang-xin>

